

各種ホルモンおよび腫瘍マーカー測定における抗凝固剤の影響と保存安定性について

研究責任者：臨床検査部長 日高 洋

1. 対象

2020年8月12日（承認日）から2022年3月31日の期間にホルモンおよび腫瘍マーカーの検査を実施し、不承諾書の提出がなかった患者

2. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

3. 目的

各種ホルモンおよび腫瘍マーカー測定における抗凝固剤の影響と保存安定性について研究を行う。

4. 方法

患者の残血漿あるいは残血清を用いて各種ホルモンおよび腫瘍マーカーを測定しその測定値を比較するとともに、検体の保存安定性についても調べる。

5. 意義

ホルモンおよび腫瘍マーカーの測定において、測定可能な抗凝固剤を把握することにより容器種のことなる追加検査などにも適切に対応でき、検体の保存安定性を把握することにより休日や長期保存の必要な場合の最適な保存方法についてアドバイスすることができると考えられる。

6. 個人情報の取り扱い

本研究の結果は、貴重な資料として学会や医学雑誌に公表する場合もあるが、本研究では対象検体の患者さんの個人情報を削除し、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う。対象患者さんとこの符号（番号）を結びつける対応表を当院及び大阪大学で作成し、個人情報管理者は外部に漏れないよう厳重に保管する。

7. 問い合わせ先

本研究は、残余検体を使用することから侵襲性がなく、かつ不承諾書の提出がない検体に限定して実施することから、本研究は臨床検査部ホームページで公開することで、同意省略にて研究を実施することに倫理審査委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を得ています。試料、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、問合せ先までお申し出ください。その際も不利益が生じることはありません。

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2番15号
TEL 06-6879-6691（内分泌・腫瘍マーカー検査室 担当者：畑伸顕）